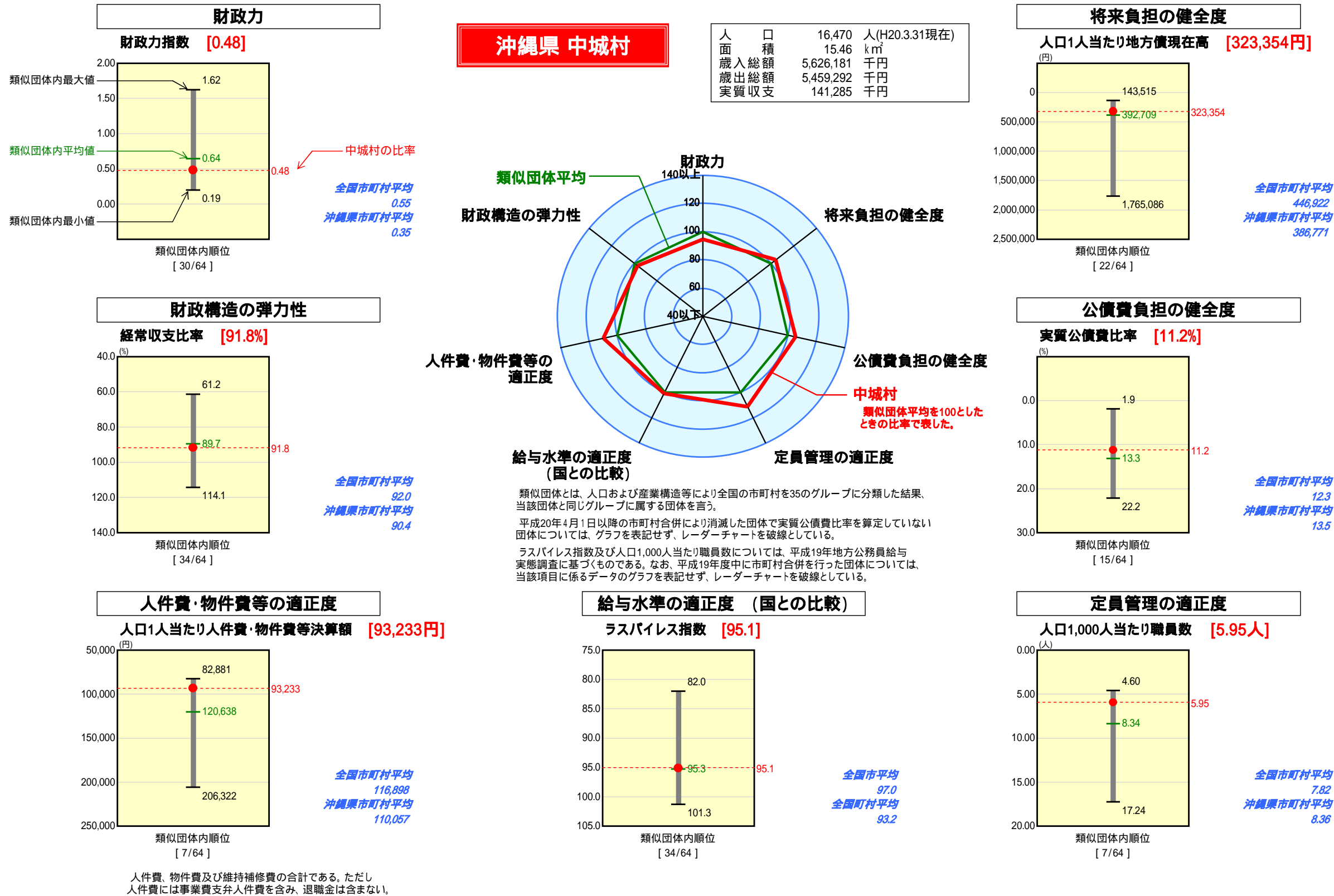
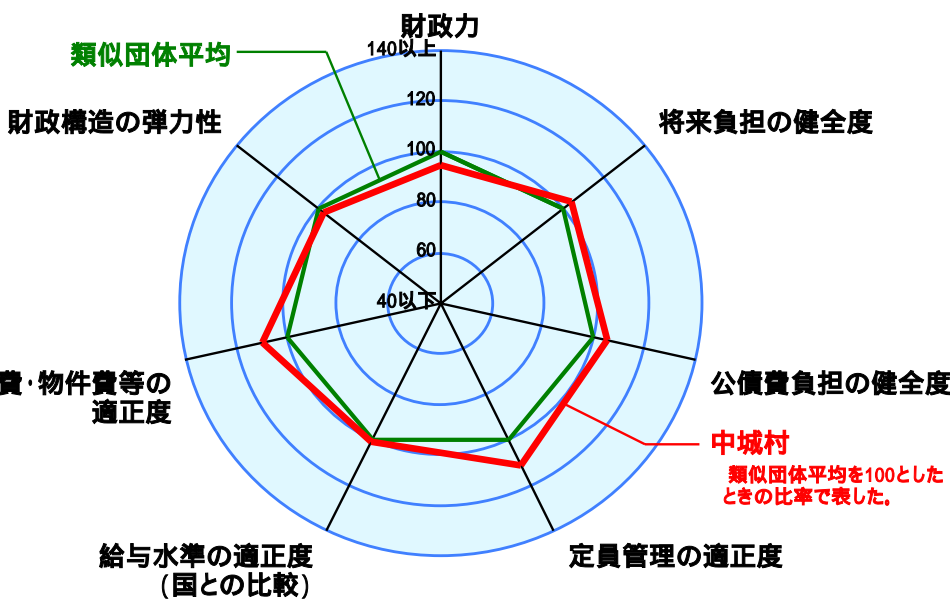


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)



沖縄県 中城村

人口	16,470 人(H20.3.31現在)
面積	15.46 km ²
歳入総額	5,626,181 千円
歳出総額	5,459,292 千円
実質収支	141,285 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

分析欄

財政力指数: 宅地造成の進捗による固定資産税等の増加により、財政力は上層傾向にきているが、交付税への依存度が依然高いので村税の徴収体制の強化を図り、自己財源の確保に努力する。

経常収支比率: 退職者の不補充及び事務事業の見直し等により、歳出削減に努力してきたが、類似団体内平均値を上回っている。今後も収入の確保及び歳出のムダを省き90%以下になるよう努力する。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体の中では低いではあるが、今後も厳しい財政状況が予想されるので事務事業を見直し抑制するよう努力する。

ラスパイレス指数: 類似団体内平均値とほぼ同値ではあるが、今後も給与の適正化に努める。

人口1人当たり地方債現在高: 類似団体の中では少ない方だが、今後も普通建設事業(単独事業)を見直し、現在の水準以下になるよう努力する。

実質公債比率: 類似団体の中では低い、上層傾向にある。今後も普通建設事業(単独事業)を見直し、現在の水準以下になるよう努力する。

人口1人当たり職員数: 財政状況が厳しく退職者の補充を見送ったので、類似団体平均値を下回った。今後も事務事業等の見直しにより適正な店員管理に努める。